

未来通信

Vol.4

東串良未来研究室

まちと自分の暮らしの未来を描く
いま、できることから始める

10/15
第4回

参加者の声 /

〇さん
(60代男性)
町議員

Pさん
(40代女性)
料理研究家

Qさん
(40代男性)
役場職員

Rさん
(20代男性)
学生

東串良町に県内外で活躍する有名人が出ると〇〇大使に任命出来て良いなど思った。

やはり人と話す事が一番大事なんだなと思った。みんなの話を聞いて、少し背中を押された！

みんな考えているんだなと知って、ポジティブな気持ちに！このような場が趣味でも良いぐらい！

県外に進学・就職している若者にも伝えたい！SNSなどでもっとアピールできると良い！

〇さんの未来シナリオ



柏原に商店を増やして、町を活性化したい

柏原海岸への来客は多いが、町への還元がない

現状

STEP1

はじめは空き地を（松林内）を活用して、町営の食堂・物産の販売を行う

STEP2

しらす丼、べ寿司等のメニューを活かして、風景と美味しい食べ物を楽しめるようにする

STEP3

お客さんが増えて、採算が取れてきたら、漁協など地元を引き継ぐ

理想の未来像

他の参加者からの声

キャンプ場等の活用と併せて、ここでしか食べられないものを提供すると良い！

実際の運営者や採算性など地元と一緒に考える必要があるそう

補助金を活用すると出来ることの制限も出てくるので、プロセス含めて考えていった方が良さそう

Pさんの未来シナリオ

他の参加者からの声

個人個人に合った活動の選択肢が増えることは素晴らしい！

定期的に関われた場を作ること空気感ができていくかも！

子育て世代にも様々な属性があるので、それぞれに合わせたアプローチが必要かも！



老若男女がコミュニケーションを取れるイベント・場が欲しい

子育て世代がお茶やおしゃべりを楽しむ場がない、まちの魅力をうまく伝えられてない

現状

STEP1

お手伝い出来そうな人、好きそうな人に相談する

STEP2

放課後の調理クラブなどを子どもやお年寄りと一緒に実際に開いてみる

STEP3

認知度を高めて、自主的に教室などを開催していく

理想の未来像

Qさんの未来シナリオ



好きなことを楽しみながら実践できるまちであって欲しい

アウトドア（キャンプ、サイクリング、写真、サーフィン）のポテンシャルはあるが、施設や道具、人材が足りない。

現状

STEP1

プロカメラマンやプロキャンパーなどに現場でのスクール・指導をしよう

STEP2

学びを受けた地元の人が、町内の既存の設備や場所を使ったアクティビティを考える

STEP3

町内全体で楽しんでいる様子を発信し、趣味の天国・多様な人材を育む

理想の未来像

他の参加者からの声

柏原海岸でサーフィンができるのを知らなかった！知らない人に広められると良い！

地元の人が気軽に体験できる、趣味を楽しめるのは大切だと思う！

柏原海岸とかふれあいの森キャンプ場は県内でもすごくポテンシャルのある空間だと思う！

Rさんの未来シナリオ

他の参加者からの声

まちの魅力や伝えたいこと、それを上手く活用しきれていないことが沢山あるんだなと感じた！

良いアイデアがたくさん！ぜひみんなに共有して欲しい！



長期的な視点でまちおこしをしていく（風景づくり、資源の活用、生きがい作り、若者支援など）

春夏秋冬の行事が少ない、せっかくの自然が雑草だらけ、町の魅力や公民館が活用できていない...

現状

STEP1

四季の行事や自然などで季節感を感じられたり、歴史的な資源を活用したPRを行う

STEP2

老若男女参加型の芸術活動や町の特産を活かした料理考案など生きがい作りを行う

STEP3

各地区の清掃・花植え等の活動の点数化、キャラ作り、公共空間や空き家活用など、地区毎の活性化を図る

理想の未来像

未来作戦会議は、まちと自分の現在地を再確認し、理想の未来像について語り合う場です！

2020.11 東串良町未来研究室
『未来通信 Vol.4』
発行▶東串良町
編集▶鹿児島天文館総合研究所
Ten-Lab

楽しかった！同じ想いの人を知り、できることから一歩踏み出したい！

話したいことが自然と出てくる楽しい場でした。沢山の人と未来を語り合いたい！

とても楽しかった！できる事を一つずつやっていこうと思う。

消極的な私ですが、みんなの想いを聞いてワクワクしてきた！私にできることを少しずつしていきたい。

第4回 作戦会議を実施！

Sさん
(60代女性)
農業

Tさん
(40代男性)
農業

Uさん
(30代男性)
デザイナー

Vさん
(30代女性)
役場職員

Sさんの未来シナリオ



東串良の一人ひとりが豊かな人生をおくることのできる町に！

近くにお店がない。歳をとって車に乗れなくなった時が不安。ゆっくりとした時間を過ごせる場所がない。

現状

STEP1 くつろげるような場（喫茶店）をつくる

STEP2

みんなで未来や東串良の魅力について語れる場になる

STEP3

地域の材料を生かせるような食べ物などを提供する

理想の未来像

他の参加者からの声

みんなが集まって幸せだなと感じられるような場は大切だしあるといい！

近くにお店がないのは実はビジネスチャンスなのかも！

自分たちで設備投資しなくてもいいような小さな一歩を踏み出すことが未来を描くのかも！

Tさんの未来シナリオ

他の参加者からの声

もう既に一歩を踏み出されていて素晴らしいと思った！

子供たちが少なくなっても、子供たちが楽しいと思えるような未来にしていきたい！

自分自身が楽しむことで周りの人たちも楽しみながら参加できるんだなと思った！



東串良に人が増えて、賑やかな町になってほしい！

町の子供たちの数が減ってきている

現状

STEP1 自分自身も東串良町の良さを町外、県外の人たちにもっと伝えていく

STEP2

役場や地域の方と相談したりイベントなどの企画を話し合う場を設ける

STEP3

実際にイベント（ビーチクリーンなどの環境整備）を行って、東串良に住みたいと思ってくれる人を増やす

理想の未来像

他の参加者からの声

話を聞いて若者たちが元気なのが想像できる！

民間だけでは限界があるので行政にも働きかけていくのは大事そう！

空き家の情報があるとチャレンジしやすいかも！

Uさんの未来シナリオ



挑戦したい若い世代の横のつながりをつくり、町内で楽しめる場所を共有したい！

新しく事業を始めたいが、土地の相場が高く、空き家の情報も少ないため、始めにくい

現状

STEP1

新しく事業を始める人がここでやってみようかなと思えるように、空き物件の詳細な情報を公開する

STEP2

新しく事業を始める人たちのアンテナに引っ掛かるようにSNSで情報発信する

STEP3

事業を始めやすいように、行政や民間等で協力してバックアップ体制を整える

理想の未来像

他の参加者からの声

子供たち、お母さんたちが気軽に集まれる場があると人が住みやすい町になりそう！

子供の未来と一緒に語れるような場があるといい！

子育てを語ろう会などの小さな一歩を踏み出すことができれば良さそう！



お母さんや子どもだけでなく、おばあちゃん世代が同じ場に集まって情報交換をしたり、子どもと遊ぶ場をつくりたい

子育て世代が土日に子供連れでも気軽に集まったり、情報交換をする場がない。

現状

STEP1

周囲のお母さんたちに悩みごとなどをヒアリングする

STEP2

子育てが終わった世代の方に声をかけて協力してもらう

STEP3

保育士さんなども巻き込んで、お母さんたちが休まる場をつくる

理想の未来像

Vさんの未来シナリオ